

## 伝統の水かぶり

2月5日(月)、釜谷地区で、伝統行事「水かぶり」が行われました。

これは、地区の長男ら跡取りで組織する釜谷神風講の中から代表3人が選ばれ、家々の前に置かれたバケツに入った冷たい水を頭から勢いよくかぶり、無火災を祈願するものです。この日は天候もよく、沿道に詰め掛けた地区の方々からは、大きな拍手と声援が送られていました。

釜谷地区は、江戸時代に全戸を焼失する火事が度々起こっていました。そこで、水をかぶることで防火を祈るうたと、初午(はつご)が2月5日または10日に当たる年に、この「水かぶり」が行われる

よつになりました。昨年の2月10日も初午に当たり、2年続けての実施となりました。次回は約15年後に行われる予定です。



## 雄勝地区

県の無形民俗文化財に指定されている「おめつき」が、1月24日(水)、名振地区において行われました。



## 浜に春呼ぶ大爆笑

## 「おめつき」

220年以上もの歴史があるこのお祭りでは、秋葉神社での一年間の無火災と家内安全・大漁祈願のあつ、独特の「丁印」を先頭に「山車」が激しくもまれながら地区内を練り歩き、各組の旧家に向かいます。そこで披露される寸劇「おめつき」と呼ばれ、男と女を象徴する小道具やねたが使われることで知られており、この日も地区内外から訪れた大勢の見物客たちが笑いの渦に包まれました。



## 桃生地区



地区に伝わる伝統の火伏せの行事「初午」が2月11日(日)、寺崎地区で行われました。

## 道化や獅子が無火災を祈願

これは、寺崎青年会(会長 小野悠一)が、旧暦の初午(2月の最初の午の日)に近いこの時期に毎年実施しているものです。

獅子、天狗などに扮した青年会員15人が、「悪魔払い、悪魔払い」と奇声を発しながら地区内を駆け回り、各家庭の茶の間や台所の「煤」を払いながら、今年1年の無火災を祈願しました。



## 河南地区

## 河南地区駐在所杯争奪

## 「綱引き・縄跳び大会」

2月4日(日)、広淵小学校講堂で、第23回河南地区駐在所杯争奪「綱引き・縄跳び大会」が行われました。この大会は、スポーツに親しんでいる少年たちが綱引きと縄跳び競技を通じて、健全育成と体力の増強を図るとともに、河南地区内スポーツ少年団の交流を深めることを目的に開催されたものです。それぞれの結果は次のとおりです。

- 綱引き単位団チームの部
  - 優勝 鹿又クラブスポーツ少年団
  - 綱引きふれあいチームの部
    - 優勝 前小笠松クラブスポーツ少年団
    - 縄跳び団体戦の部
      - 優勝 北小フエニックススポーツ少年団

- 縄跳び持久飛びの部
  - 優勝 鹿又剣道スポーツ少年団
  - 山内 笑舞さん
  - 縄跳びダブルサイクルの部
    - 優勝 河南ディアーススポーツ少年団
    - 山田 奈緒さん
    - 縄跳びトリプルサイクルの部
      - 優勝 河南ディアーススポーツ少年団
      - 木村彩紗望さん
      - 縄跳びクロスサイクルの部
        - 優勝 北小フエニックススポーツ少年団
        - 相澤 拓毅君
  - 総合の部
    - 優勝 鹿又クラブスポーツ少年団





このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

## 牡鹿地区

1月18日(木)から3月15日(木)まで、牡鹿地域各地区で「災害時要援護者支援体制説明会」が実施されています。

この取り組みは、高い確率で発生が予想されている宮城県沖地震などの災害発生時に、住民の皆さんと行政が協働で、一人暮らしの高齢者や障害があり自力での避難などが困難な方の支援体制を構築し、安否確認や避難誘導をスムーズに行なうことを目的にしています。

災害に備えて自助・共助・公助による防災まちづくりを推進しましょう！



▲ 寄磯地区での説明会の様子

## 北上地区

風景写真の第一人者の竹内敏信氏を迎えて写真セミナー「第5回太平洋写真学校 北上教室」が1月27日(土)～28日(日)に開催され、北は北海道、南は九州から写真愛好家75人が参加しました。

このセミナーは、「日本の音風景百選」にも選ばれた「北上川河口のヨシ原」など北上町の美しい自然景観のPRを目的として始まり今年で9年目になります。

初日は、竹内敏信氏による写真クリニックが行われ、参加者がこれまで撮影した自慢の作品を持参し、1枚1枚丁寧な指導を受けていました。水辺センターに移動しての撮影会



## カメラマン写真家が集合

では、黄金に色づいたヨシが川岸を美しく彩り、それぞれのポイントでカメラが立ち並びヨシの音色とカメラのシャッターの音が響いていました。

セミナー最後には第7回にっこり写真コンクールの表彰式も行なわれ、石巻市長賞に南三陸町の遠藤正弘さんが選ばれました。

## 石巻地区



## 自分の考えを自分の言葉で

2月4日(日)、渡波公民館において第35回渡波地区意見発表会が開催されました。これは、渡波地区の住民が日々考えていることなどを発表・交換することによって青少年の健全育成と、よりよい街づくりに寄与することを目的として行なわれたものです。

この日は、市立女子商業高等学校の菅原優維さんを最初に、小学生7人、中学生4人、高校生3人が、それぞれの意見を発表しました。

発表者は、「あいさつ」などの身近な話題や「いじめ」、「自分の将来」など、さまざまな問題について、自分



の言葉で意見を発表していました。

## サン・ファン・パウティストの

## さまざまな表情

1月28日(日)から2月28日(木)まで、慶長使節船写真コンクール作品展が、慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)で開催されました。

今年度は、50人から151点の応募があり、四季の部・モデルの部・イベントの部の三部門で、特選・準特選・入選作品が選ばれ、展示されました。

それぞれ、四季のサン・ファン・パウティストをきれいに写し取った作品やモデルの若々しさを美しく表現した作品など合計23点が展示され、訪れた人を楽しませました。